

September 2019

クリスチャン2世、3世の建て上げ

そのように、わたしの口から出るわたしのことばも、おなしく、わたしのところに帰っては来ない。必ず、わたしの望む事を成し遂げ、わたしの言い送った事を成功させる。(イザヤ書 55章11節)



代表 エルサレム杉澤

皆さまの尊いお祈りとご献金を感謝いたします。いま、世代交代が頻繁に叫ばれるなか、預言を通してクリスチャン2世、3世の若い世代を中心に長崎にいくつかのチームが派遣されようとしています。これから海外宣教を含めた世界宣教の働きを2世、3世が担っていくうえで重要な意味合いを持った派遣となりますので、お祈りいただければ幸いです。

今、若い2世・3世が中心となり預言で語られたインターネットや映像を用いた世界宣教の働きがなされてきています。ここ数年で神さまの特別な方法と導きで実際的な建て上げが進むと共に、神さまが賛美の働きも大きく用いると語られるなか、ここ数年で若い世代の著しい躍進が目立っています。特に、J.GOSPEL(日本語のオリジナルゴスペル)コンサートでは重要な役割を担っていますし、「J.GOSPELコンテスト ファイナル in 白馬」では上位組の中心だった大人の賛美グループを良い意味で脅かす存在となってきました。

当ミッションの土台となるTLEA東京アンテオケ教会は、神さまの示しで1984年に国分寺でスタートしました。当初、暫くは国分寺ランドと言われ、ボウリングやハイキング等々の遊びを中心とした交わりの期間が置かれましたが、神さまの示しで国分寺ランドから献身者を建て上げる国分寺道場へと変わりました。そして、献身者の霊的な建て上げの重要な第一歩が、預言を通して派遣された長崎チームでした。このチームが派遣された後、初期の献身者たちの結婚が導かれ、本格的な海外宣教の働きがスタートし、現在に至っています。

神さまは、若い2世、3世の実際的な側面の建て上げと共に、再び、預言を通して霊的側面の建て上げのために長崎にチームを派遣されます。約束の終末、後の雨リバイバルのクライマックスの働きを担う中心となる2世、3世を聞き従う器として主が建て上げ、用いてくださり、終末リバイバルの働きを主が成し遂げ、栄光を現してください。

写真：7月に行われた白馬キャンプでメッセージをするパウロ秋元牧師

